

TB-6000 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車種に対応します。
・東武6000系
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

注意

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】
・ヘッドライトユニット : 1個/セット

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

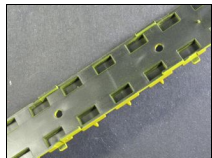
【必要な工具】

・カッティングマット	・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)	・直定規
・ピンセット	・楊枝、綿棒など	・塗装面を保護する柔らかい布
・ニッパ	・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)	・ボンチ(プッシュピンなども可)
・プラスチックドライバー	・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)	・サンドペーパー
・両面テープ	・ゴム系接着剤	・マスキングテープ
・木工ボンド	・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)	・プラモデル用接着剤	・瞬間接着剤
		・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 窓ガラスを外す	1-4 前面透明パーツを外す	○上部ライトパーツの外し方
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	パンタグラフが付いている車両は、内側から押して外します。本車種は屋根を外す必要はありません。	窓ガラスは、モハの場合は両側の側窓一連結面の順に、クハの場合はトイレのない側の側窓一連結面→トイレのある側の側窓の順に、外します。	前面窓・ライトレンズが一体となった透明パーツは、外側から楊枝などで押して、外します。	パッケージには「前方に引き出して取り外し」と書いてありますが、写真のように凸凹になっています。ライトパーツの後部に精密ドライバーを差し入れてコジって外します。
2. 車体を加工する。		3a. 床板を加工する		3b. 動力ユニットの加工
2-1 前面透明パーツの加工	2-2 側窓を加工する	(トレーラー車の場合)		(動力ユニットを組込む場合)
				
前面透明パーツを、側窓固定用の突起と、前面窓の中間あたりで切断します。	側窓前縁を、丸印をすべて取り取るように、45度の線でカットします。カッターで角度備をつけてから折ります。	床板前縁の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前縁の幅が広がっている部分(約2mm)をカットします。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。
4. 基板を配置する		5. 配線する		
4-1 前面窓をはめる	4-2 ライトユニットをはめる	5-1 側窓の凸部にアルミテープを貼る	5-2 側窓下にアルミテープを貼る	
				
前面窓ガラスをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	5mm×7mmのアルミテープを4本用意します。側窓の内側・両端、ボチとの接合部の凸部にテープを貼ります。テープの先端が窓ガラスのリップに当たるようにします。はみ出したテープを側窓の外側に折り返します。綿棒や指でよく押さえ、凸部に馴染ませます。両側の側窓の両端、計4箇所を凸部に貼ります。	2.5mm×108mmのアルミテープを2本用意します。側窓の両端の凸部をつなぐように、テープを貼ります。	
(5-2つづき)	5-3 側窓をはめる	5-4 ライトユニットへの配線	5-5 給電パッドの重ね貼り	5-6 側窓下の重ね貼り
				
両側の側窓に貼ります。	取り外したときと逆の運所で側窓を外します。	1.5mm×13mmのアルミテープで、側窓下のアルミテープからライトユニットの給電パッドまで配線します。必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	側窓下の通電の確実を期して、3mm×10mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

●シートの追加加工



シートが浮き気味で、床板がしっかりととはまらない場合は、シート中央両側の4つの脚を切り取ってください。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p> <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	<p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後端に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、後側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	<p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

TB-0600 説明書 3.00
 2014/12/21 初版
 2015/04/01 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
 2017/08/25 3.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
 イズムワークス・直売所
 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15. 店舗営業はしていません。
 phone:0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail:shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp

